

平成28年12月定例弥彦村教育委員会会議録

弥彦村教育委員会は、平成28年12月5日午前10時弥彦村役場別館会議室に召集された。

1. 出席したものは、次のとおりである。

林 順一、渡邊一嘉、米山 信、五十嵐ゆかり

2. 出席した職員は、次のとおりである。

教育課長 小森順一、管理指導主事 堀 正士、教育課係長 石川秀雄

3. 議題は次のとおりである。

(1) 開会宣言

(2) 会議録署名委員の指名について

(3) 定例教育委員会会議録の承認について

(4) 報告事項

報告第1号 11月定例教育行政報告について

(5) 議案事項

議案第1号 12月補正予算について

(6) その他

1) 次期定例教育委員会の日程について

林教育長は、午前10時に開会を宣言し会議録署名委員に次の委員を指名した。

五十嵐委員
指名された委員は、これを承諾する。

教 育 長 11月定例会会議録について意見はないか。
(訂正なし)

教 育 長 教育長報告を報告第1号 11月定例教育行政報告をもって代えさせていただく。

(教育長より説明が行われ、引き続き教育課長より実施行事についても報告が行われた。)

教 育 長 報告第1号について質疑はないか。

米 山 委 員 11日の平成29年度就学時健診について、目的と検査項目、また診断結果の利用法について伺いたい。

教 育 課 係 長 学校保健安全法第11条により実施するもので、来年度に小学校へ入学する子どもを対象に全国すべての市町村が実施している。検査項目は視力、聴力検査と内科、歯科健診および知的発達スクリーニング、音声言語検査となる。診断結果を基に専門医への受診をすすめる他、知的障害等の早期発見により来年度の学級編成の参考としている。

米 山 委 員 保育園からの情報提供はあるのか。

管理指導主事 保育園年長になると特色がはっきりしてくるため、医療機関に受診し情報提供される場合もある。

教 育 長 特別支援学級等への進学は保護者の意向、了承が必要となる。この結果および保護者の意向を受け、就学支援委員会を12月1日におこなった。

米 山 委 員 食物アレルギーについても検査するのか。

教 育 課 係 長 食物アレルギーの検査は実施しないが、保護者から提出いただく問診票にアレルギーの有無は記載いただくことになる。

米 山 委 員 文化会館の休日の管理について、土日職員が出ているのか。

教 育 課 長 休日はシルバー人材センターに管理人業務を委託している。

五 十 嵐 委 員 弥彦体育館の使用状況、回転率はどうか。

教 育 課 長 回転率は正確な数字が出ないが、土日は毎週利用がある。平日についても日中はレクダンス等の村内の団体利用があり、夕方以降は中学校の部活動やスポーツ少年団等が毎日利用している。

(他質疑なし)

教 育 長 議案第1号12月補正予算について説明をお願いしたい。

(教育課長より説明が行われた。)

教 育 長 議案第1号について質疑はないか。

(質疑なし)

教 育 長 議案第 1 号について意見はないか。
(意見なし)

教 育 長 議案第 1 号の議決について異議ないか。
(異議なし)

教 育 長 議案第 1 号を議決する。

教 育 長 その他について何かあるか。
(教育課長より 1 2 月の行事予定について説明が行われた。)

渡 邊 委 員 来年度の学習指導支援講師の採用予定人数はどうか。
教 育 長 小、中学校それぞれ 4 名を予定している。近年応募数が少なくなっており苦戦している。

五十嵐委員 今年の講師の教員採用状況はどうか。
管理指導主事 小学校は 3 名採用されたが、中学校の講師は採用されなかった。中学校は倍率が高く厳しい。小学校 1 名、中学校も 2 名は来年度も講師継続を希望している。

教 育 長 弥彦村議会において給付型奨学金について質問され、教育委員会で検討事項となっている。それについて意見があれば伺いたい。

教 育 課 長 今年の 6 月議会で一般質問があった。新潟県や近隣市町村も給付型奨学金を導入し始めており、Uターンしてきた奨学生に、奨学金の返済減免、免除や返済分を補助金で補てんする等している。
事務局でも検討したが、奨学金の返済を無くしただけで、Uターン者の増加に寄与できるかは疑問であるということや、実施年度によって不公平感が出ない制度設計等、統一見解を出すには少し検討期間が必要である。

米 山 委 員 新潟県の奨学金は申請すれば採用されるのか。
教 育 課 長 年度によって採用人数が決まっている。所得要件の他、成績要件が一定レベルに達している応募者の中から採用される。

教 育 長 国も来年から制度付けに向け取り組むようだ。いずれにしても、1 年の差で損得がある不公平が生じてはならず、十分な周知期間が必要のため、来年度から実施は難しいが、今後の検討課題としたい。
続いて、来年度の学校要望予算について説明させていただく。
(教育課係長より平成 29 年度学校要望予算について説明が行われた。)

教 育 長 その他、来年度に向けて検討している課題の一つに、保育園業務の福祉保健課から教育委員会への業務移管をしたいと考えている。子ども子育て会議において認定こども園は当面導入しないということになったが、一元的な保小中連携の取り組みのためにも進めたい。

五十嵐委員 来年度の特別支援学級となる新一年生の状況はどうか。
管理指導主事 現在、3 名と面談、協議をおこなっている。
五十嵐委員 介助員の体制、配置を年度初めから適切に行ってほしい。
教 育 長 特別支援学級内での対人関係のトラブルもあり、今年度途中から介助員を 1

名増員した。学校と協議し適切に配置したい。

(他、教育長より療育施設視察、長野県青木村視察、小・中学校アンケートの結果、総合教育会議の開催について説明があった。)

(他質疑なし)

委員長 次回定例会の日程はどうか。

(次回定例会を平成29年1月12日(木)に開催する確認がなされた。)

以上、予定された会議日程をすべて終了し林教育長の閉会宣言がなされた。

閉会時刻 午前11時17分

弥彦村教育長

会議録署名委員